

TASCAM

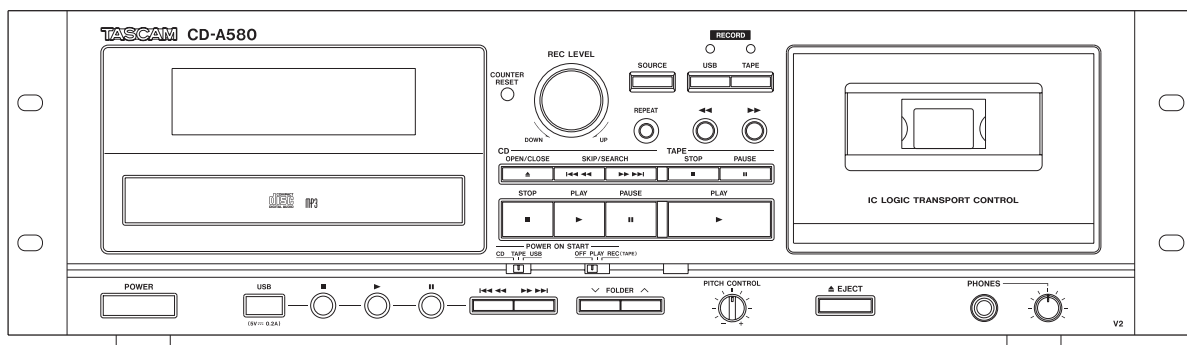
D01310401E

CD-A580

(CD-A580 / CD-A580 v2)

CD Player / Cassette Deck








取扱説明書



2022年7月生産から一部仕様が変更され、USBメモリーに保存されるファイルの名称やフォルダ構成が変わります。オリジナルの「CD-A580」（製造中止）と区別が必要な際には、「CD-A580 v2」と表記します。なお、バージョン2はフロントパネル右下に「V2」の表記があります。詳細は13ページをご覧ください。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

|  | <h2>警告</h2> <p>以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p> |
|--|--|
|  <p>電源プラグをコンセントから抜く</p> | <p>万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なにおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）に修理をご依頼ください。</p> |
|  <p>禁止</p> | <p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年 1 回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p> |
|  <p>禁止</p> | <p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重い物をのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしな 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近付けて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（巻末 に記載）に交換をご依頼ください。</p> <p>交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用 しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（20cm 以上）離して設 置する ラックなどに入れるときは、機器の天面から 1U 以上、背面から 10cm 以上の隙間を空ける 隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> |
|  <p>禁止</p> | <p>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p> |
|  <p>分解禁止</p> | <p>この機器のカバーは絶対に外さない カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。</p> |
|  <p>注意</p> | <p>イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、聴覚障害の原因となります。聴覚障害の可能性を防ぐために、 長時間、高音量で聴かないでください。</p> |



注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



電源プラグをコンセントから抜く

移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す

コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。

旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く

通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。



指示

オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する

また、接続は指定のケーブルを使用する

電源を入れる前には、音量を最小にする

突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする

異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない

火災・感電やけがの原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



注意

5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

安全にお使いいただくために（続き）

電池の取り扱いについて

本機に付属するワイヤレスリモコンは、電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

|  警告 乾電池に関する警告 | |
|--|--|
|  禁止 | 乾電池は絶対に充電しない 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。 |
|  警告 電池に関する警告 | |
|  強制 | 電池を入れるときは、極性表示（プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き）に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 |
| | 長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。 |
|  禁止 | 指定以外の電池は使用しない 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない 破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。 |
| | 炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなる所で保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。 |
|  注意 電池に関する注意 | |
|  禁止 | 金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。 |
|  分解禁止 | 分解しない 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。 |
|  注意 | 保管や廃棄をする場合は、他の電池や金属の物と接触しないようにテープなどで端子を絶縁してください。 |
| | 使い終わった電池は、電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村の廃棄方法にしたがって捨ててください。 |

目次

| | |
|-----------------------|----|
| 安全にお使いいただくために | 2 |
| 本機でできること | 5 |
| お使いになる前に | 6 |
| 商標および著作権に関して | 7 |
| アフターサービス | 7 |
| USB メモリーについて | 8 |
| MP3 について | 8 |
| ディスクについて | 9 |
| カセットテープについて | 10 |
| お手入れ | 11 |
| 各部の名前と働き (本体) | 12 |
| 各部の名前と働き (リモコン) | 14 |
| リモコンの使い方 | 15 |
| 接 続 | 16 |
| ディスプレイ | 17 |
| 基本操作 | 19 |
| ディスクを聴くには | 20 |
| シャッフル再生 | 22 |
| リピート再生 | 23 |
| プログラム再生 | 24 |
| カセットテープを聴くには | 27 |
| USB メモリーを聴くには | 29 |
| USB メモリーに録音するには | 31 |
| USB メモリーからファイルを消去するには | 34 |
| カセットテープに録音するには | 35 |
| タイマー再生 / 録音 | 37 |
| MP3 ディスクの再生順 | 39 |
| 困ったときは | 40 |
| 仕 様 | 42 |

本機でできること

再生



CD/CD-R/CD-RW
(オーディオ CD/MP3 ディスク)

→ 「ディスクを聴くには」 20 ページ



カセットテープ

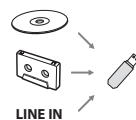
→ 「カセットテープを聴くには」
27 ページ



USB メモリー (USB フラッシュメモリー) に保存された MP3 ファイル

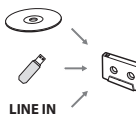
→ 「USB メモリーを聴くには」
29 ページ

録音



ディスクやカセットテープ、外部接続した機器から
USB メモリーに録音

→ 「USB メモリーに録音するには」 31 ページ



ディスクや USB メモリー、外部接続した機器から
カセットテープに録音

→ 「カセットテープに録音するには」 35 ページ

タイマー

市販のタイマーが必要です。

→ 「タイマー再生 / 録音」 37 ページ

タイマー再生



タイマー録音



お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店またはタスカム カスタマーサポート（巻末に記載）にご連絡ください。

リモコン (RC-1329) × 1



リモコン用乾電池 (単4) × 2



ラックマウントビスキット × 1

取扱説明書 (保証書付き、本書) × 1

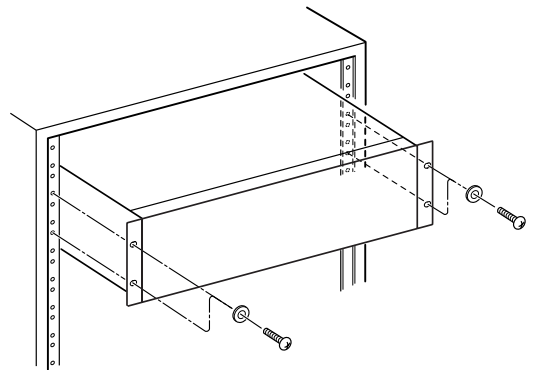
TASCAM ID 登録ガイド × 1 (CD-A580 v2のみ)

使用上の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなる所に置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。
- 再生中はディスクが高速回転しているので本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
- 本機がスタンバイ状態のときは、待機電力が消費されます。

設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏 5 度～ 35 度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。
 - 振動の多い場所
 - 窓際などの直射日光が当たる場所
 - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
 - 極端に温度が低い場所
 - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所
 - ほこりの多い場所
- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントビスキットを使って、下図のように取り付けてください。なお、ラック内部では、本機の上に 1U 以上のスペースを空けてください。



結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。

結露したときは、約 1 ～ 2 時間放置してから電源を入れてお使いください。

商標および著作権に関して

- TASCAM およびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like).
An independent license for such use is required. For details, please visit <http://mp3licensing.com>.
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではありません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。
弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付（巻末に記載）されています。大切に保管してください。万が一販売店の捺印やご購入日の記載がない場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できる物を一緒に保管してください。
 - 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センター（巻末に記載）が無償修理致します。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
 - 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
 - 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）までご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
本機を使ったカセットテープ／USBメモリーなどの記憶内容を消失した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いかねます。
- 型名、型番（CD-A580）
 - 製造番号（Serial No.）
 - 故障の症状（できるだけ詳しく）
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
 - 本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

USB メモリーについて

⚠ 注意

USB メモリーの読み込み、再生、録音、またはファイルの消去などのアクセス中には、絶対に電源をオフにしたり、USB メモリーを抜いたりしないでください。本機や USB メモリーの故障の原因になります。

本機で利用できる USB メモリー

- USB フラッシュメモリーのみ使用できます。
- ハードディスクドライブ (HDD)、CD/DVD ドライブなどの USB 接続機器は使用できません。
- 本機では USB メモリーに記録されているファイルをコピー、または移動することはできません。
- 再生可能フォーマット：FAT16、FAT32
- NTFS、HFS、または HFS+ フォーマットは使用できません。
- 再生可能な最大フォルダー数：255
- 再生 / 録音可能な最大ファイル数：999
- 全ての USB メモリーでの動作を保証するものではありません。TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) には、当社で動作確認済みの USB メモリーのリストが掲載されていますので、ご参照ください。
- CD から USB メモリーへの録音時、USB メモリーの種類によっては、モニター音が切れることがありますが、録音されたデータに影響はありません。

USB メモリーへの録音

本機では、CD やカセットテープ、または接続した外部入力機器 (チューナーなど) の音声を MP3 形式にして、USB メモリーに録音することができます。録音方法は、31 ページをご覧ください。

MP3 について

本機は CD-R/CD-RW や USB メモリーに記録された MP3 ファイルを再生することができます。

- 再生可能オーディオファイルフォーマット MP3 (拡張子 「.mp3」)
 - ビットレート 8k ~ 320kbps
 - サンプリング周波数 16k ~ 48kHz
- ※ DRM(Digital Right Management) には対応していません。
- フォルダーの階層は 8 階層まで対応

ファイル名の表示について

本機のディスプレイには半角のアルファベットと数字 (1 バイト文字) しか表示できません。

- ファイル名に日本語や中国語などの全角文字 (2 バイト文字) が使われている場合、再生はできますが、ディスプレイに正しく表示できません。その場合、「****」と表示されます。

パソコンを使って MP3 ファイルを作成する際の注意

- ISO9660 規格で記録されていないディスクは再生できません。
- MP3 ファイルの認識はファイル拡張子 (.mp3) で行います。ファイル名には必ず拡張子を付けてください。
- 拡張子のないファイルは認識できません。また、ファイル名に拡張子をつけていても MP3 データ形式でないファイルは再生できません。
- CD-R/CD-RW への記録後は、クローズセッション (ディスクの作成を完了) してください。クローズセッションされていないディスクは再生できません。
- 本機で再生できる最大ファイル数は 999、最大フォルダー数は 255 です。最大数を超過して記録されている場合は、1000 番目以降のファイルや 256 番目以降のフォルダーは正しく再生できない場合があります。
- マルチセッションで記録されたディスクには対応していません。最初のセッションのみ再生します。
- ディスクの状態によっては、本機で再生できなかつたり、音が途切れたりすることがあります。
- 著作権保護された音楽ファイルは本機で再生することはできません。

ディスクについて

本機で再生できるディスク

コンパクト ディスク デジタル オーディオ
「Compact Disc Digital Audio」ロゴマークのある
CD(12cm/8cm)



- ロゴマークは、ディスクレーベルやパッケージに表示してあります。

音楽 CD フォーマットで正しく記録され、ファイナライズされた CD-R および CD-RW。
または、MP3 ファイルが記録され、ファイナライズされた CD-R および CD-RW。

本機は上記のディスクをアダプターなしで再生することができます。上記以外のディスクは再生できません。

⚠️ 上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷つける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。

- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。
- ビデオ CD、CD-ROM などはディスクを読み込むことはできますが、再生しても音が出ません。
- スーパーオーディオ CD は本機で読み込み・再生ができません。
- DVD ビデオ、DVD オーディオ、DVD-ROM などは本機で読み込み・再生ができません。

⚠️ DVDビデオ、DVDオーディオ、DVD-ROMなどをディスクトレイに入れると、ディスクを読み込もうとして高速回転します。万が一これらのディスクを入れてしまった場合は、ディスクを傷つける恐れがありますので、必ず回転が終わってから取り出してください。（「READING」の表示中には取り出さないでください）

- コピーコントロール CD や Dual Disc など、CD の標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

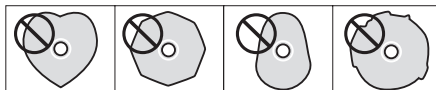
CD-R/CD-RW について

本機は音楽 CD フォーマット (CD-DA) と MP3 フォーマットで記録された CD-R/CD-RW を再生することができます。

- CD レコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。
- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。
- CD-R や CD-RW ディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクの発売元にお問い合わせください。

使用上の注意

- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタル CD のシールなどを貼ったあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音 / 再生ができなくなる場合があります。
- 市販の CD 用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ハート形や八角形など特殊形状の CD は、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



ディスクについて (続き)

ディスクの取り扱い

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
- 信号録音面 (レーベルがない面) に傷、指紋、汚れなどがあると、録音 / 再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。



取り出し方



持ち方

ディスクの保存について

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりや傷の原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなる恐れがあります。
- CD-R/CD-RW は、通常の CD と比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
- ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

お手入れ

- 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

カセットテープについて

本機で使用できるカセットテープ

本機で再生できるカセットテープ

ノーマル (タイプ I) クローム (タイプ II)
メタル (タイプ IV)

本機で録音できるカセットテープ

ノーマル (タイプ I) クローム (タイプ II)

使用上の注意

- カセットを開けたり、テープを引き出したりしないでください。
- テープに直接手を触れないでください。

保存上の注意

- 磁石や磁気を帯びたものに近付けないでください。雑音が入ったり、録音内容が消えてしまうことがあります。
- ほこりの多い場所に放置しないでください。
- 高温・多湿の場所での保存は避けてください。

使用を避けたいカセットテープ

次のようなカセットテープを使用すると、正常な動作をしないことがあります。またテープが巻き込まれて思わぬトラブルを起こすこともありますので、ご注意ください。

変形したカセットテープなど

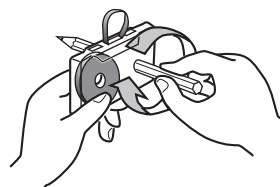
カセットが変形していたり、テープの走行が不安定なもの。早送り、巻き戻し中に異音を生ずるもの。

長時間テープ

90分より長いテープは大変薄くて伸びやすいため、キャプスタンなどに巻き込まれることがありますので、ご使用にならないでください。

テープの「たるみ」

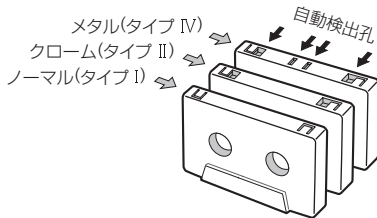
テープがたるんでいると、キャプスタンなどに巻き込まれることがあります。鉛筆などでたるみを巻き取ってから使用してください。



カセットテープについて (続き)

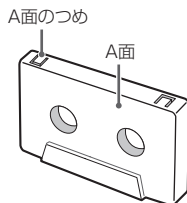
自動検出孔について

本機のカセットデッキはカセットテープの自動検出孔によってテープの種類を自動検出します。自動検出孔のあるカセットテープをお使いください。



誤消去を防止するには

カセットテープには、大切な録音内容を誤って消さないように、誤消去防止用のつめがついています。つめはカセットのA面、B面用にそれぞれあります。ドライバーの先などで折って取り除くと、誤消去防止装置が動いて録音ができなくなります。



- 再度、録音をしたいときは、つめを取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。その際にテープ自動検出孔はふさがないようにご注意ください。

お手入れ

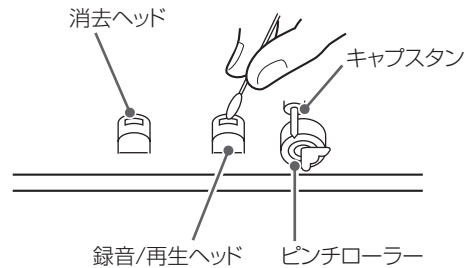
トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。化学ぞうきんやシンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

カセットデッキのクリーニングと消磁

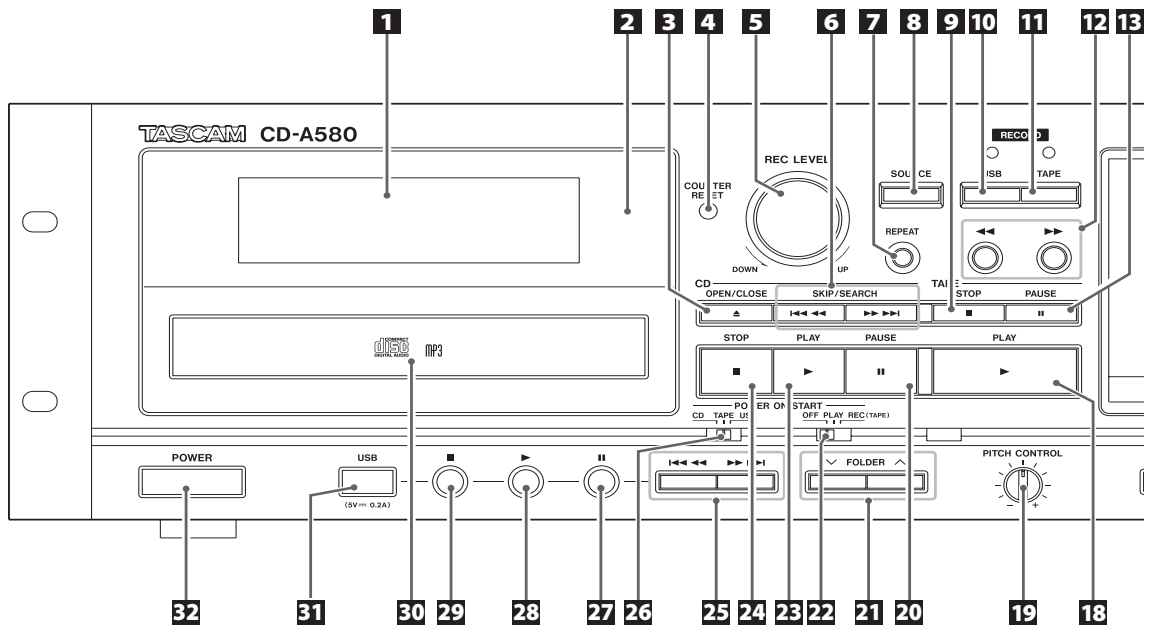
クリーニング

ヘッド部が汚れると、録音・再生の音質が悪化したり、音飛びの原因になります。また、テープ走行部の汚れは、テープの巻き込みなどを引き起こすことがあります。約10時間の使用を目安に、市販のクリーニング液を綿棒に含ませて、ヘッドとピンチローラー、キャプスタンを清掃してください。



- ヘッドのクリーニング液が乾いてから、カセットテープをセットしてください。

各部の名前と (本体)



1 ディスプレー

曲数や再生時間などが表示されます。(17 ページ)

2 リモコン受光部

リモコンを使用するときは、リモコンの先端をここに
向けて操作してください。

3 CD 開閉ボタン (▲)

ディスクトレイを開閉します。

4 TAPE カウンターリセットボタン (COUNTER RESET)

ディスプレイのテープカウンターを「0000」にリセッ
トします。

5 録音レベル調節つまみ (REC LEVEL)

録音レベルの調節に使用します。

6 CD スキップ (I◀◀/▶▶I)/ サーチ (◀◀/▶▶) ボタン

前または後ろの曲にスキップします。再生中に押し続
けると早送り / 早戻しができます。

7 CD USB リピートボタン (REPEAT)

リピート再生に使用します。(23 ページ)

8 入力切換ボタン (SOURCE)

このボタンを押すたびに入力ソースが切り換わります。
(19 ページ)

9 TAPE 停止ボタン (■)

カセットテープの再生を停止します。
また、カセットテープへの録音を停止するのに使用します。

10 USB 録音ボタン (RECORD USB)

USB メモリーに録音をするときに使用します。一度押
すと録音待機状態になり、もう一度押すと録音を開始
します。(31 ページ)
録音中に押すと、そこで録音ファイルが分割されます。
(33 ページ)

11 TAPE 録音ボタン (RECORD TAPE)

カセットテープに録音をするときに使用します。一度押
すと録音待機状態になり、もう一度押すと録音を
開始します。(35 ページ)

12 TAPE 早送り / 巻き戻しボタン (◀◀/▶▶)

カセットテープの早送り / 巻き戻しに使用します。

13 TAPE 一時停止ボタン (II)

カセットテープの再生 / 録音を一時停止します。
もう一度押すと再生 / 録音を再開します。

14 TAPE カセットホルダー

15 ヘッドホンつまみ (PHONES)

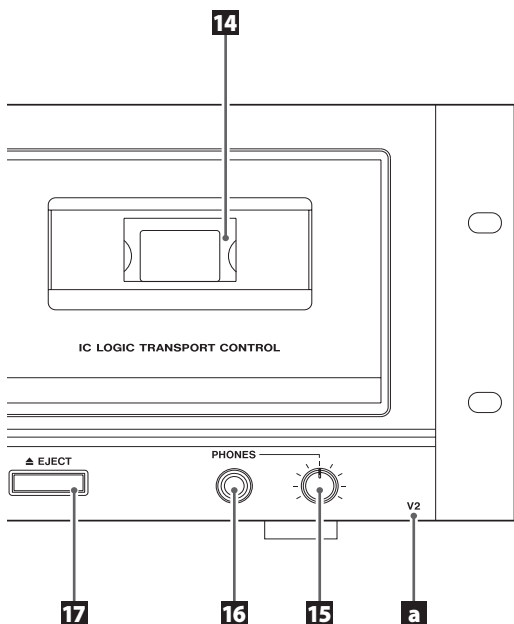
ヘッドホンつまみでヘッドホン出力レベルを調節します。

16 ヘッドホン端子 (PHONES)

ステレオヘッドホンを接続するためのステレオ標準
ジャックです。ミニプラグのヘッドホンを接続する場
合は、変換アダプターをご使用ください。

17 TAPE イジェクトボタン (▲ EJECT)

カセットホルダーを開きます。(テープ停止中のみ動
作します。)



18 TAPE 再生ボタン (▶)

カセットテープを再生します。
カセットテープが一時停止状態のときに押すと、再生 / 録音が再開します。

19 TAPE ピッチコントロールつまみ (PITCH CONTROL)

カセットテープの再生速度を調節します。(28 ページ)

20 CD 一時停止ボタン (⏸)

ディスクの再生を一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

21 CD USB フォルダーボタン (▼ FOLDER ▲)

MP3 ファイルが格納されているフォルダーを選びます。(22、30 ページ)

22 タイマー設定スイッチ (POWER ON START OFF-PLAY-REC (TAPE))

このスイッチで、タイマーの動作モード(タイマー再生、タイマー録音、またはタイマーオフ)を選びます。タイマー再生 / 録音をするには、市販のプログラムタイマーを本機に接続してください。(37 ページ)

- タイマー再生 / 録音をしない時には OFF に設定してください。

23 CD 再生ボタン (▶)

ディスクを再生します。

24 CD 停止ボタン (■)

ディスクの再生を停止します。

25 USB スキップ (◀◀ / ▶▶) / サーチ (◀◀ / ▶▶) ボタン

前または後ろの曲にスキップします。再生中に押し続けると早送り / 早戻しができます。

26 ソース設定スイッチ (POWER ON START CD-TAPE-USB)

電源をオンにしたときは、このスイッチで設定してあるソースで起動します。

このスイッチで、タイマー再生 / 録音するものを選びます。(タイマー録音では、カセットテープにのみ録音できます)

タイマー再生 / 録音をするには、市販のプログラムタイマーを本機に接続してください。(37 ページ)

27 USB 一時停止ボタン (⏸)

USB メモリーの再生 / 録音を一時停止します。もう一度押すと再生 / 録音を再開します。

28 USB 再生ボタン (▶)

USB メモリーを再生します。
USB の録音待機状態のときに押すと、録音を開始します。

29 USB 停止ボタン (■)

USB メモリーの再生を停止します。
また、USB メモリーへの録音を停止するのに使います。

30 CD ディスクトレイ

31 USB USB 端子

USB メモリーを接続します。

32 電源ボタン (POWER)

電源のオン / オフを切り換えます。

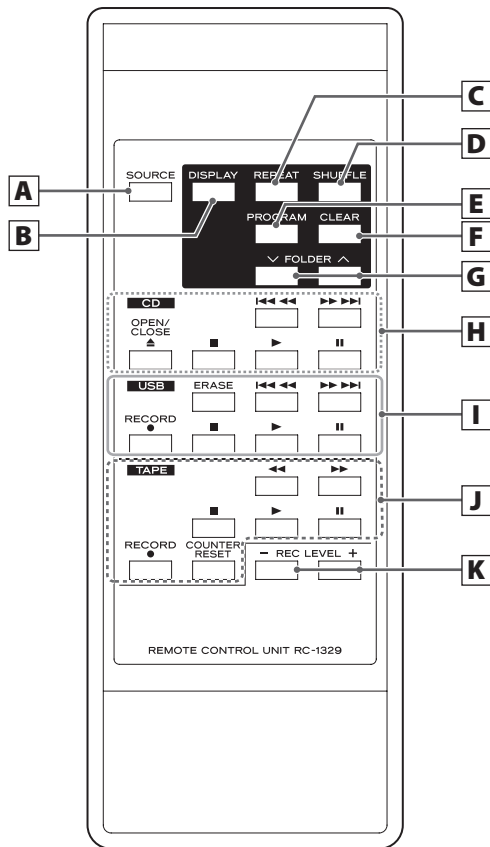
⚠ 注意

USB メモリーのアクセス中(読み込み、再生、録音、またはファイルの消去中など)には、絶対に電源をオフにしたり、USB メモリーを抜いたりしないでください。本機や USB メモリーの故障の原因になります。

a 型名 (V2)

CD-A580 と区別するために、CD-A580 v2 にはフロントパネルの右下に「V2」の表記があります。CD-A580 と CD-A580 v2 は USB メモリーに保存されるファイルの名称やフォルダ構成に仕様の差異がありますのでご注意ください。(31 ページ)

各部の名前と (リモコン)



本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

- A** **入力切換ボタン (SOURCE)**
このボタンを押すたびに入力ソースが切り換わります。(19 ページ)
- B** **CD USB ディスプレーボタン (DISPLAY)**
ディスプレイに表示される情報を切り換えます。(18 ページ)
- C** **CD USB リpeatボタン (REPEAT)**
リピート再生に使用します。(23 ページ)
- D** **CD USB シャッフルボタン (SHUFFLE)**
シャッフル再生に使用します。(22 ページ)
- E** **CD USB プログラムボタン (PROGRAM)**
プログラム再生に使用します。(24 ページ)
- F** **CD USB クリアボタン (CLEAR)**
プログラムを消去するのに使用します。(26 ページ)
- G** **CD USB フォルダボタン (∨ FOLDER ∧)**
MP3 ファイルが格納されているフォルダを選びます。(22、30 ページ)
- H** **CD**
スキップ (◀◀/▶▶)/サーチ (◀◀/▶▶) ボタン
前または後ろの曲にスキップします。再生中に押し続けると早送り/早戻しができます。
開閉ボタン (▲)
ディスクトレイを開閉します。
停止ボタン (■)
ディスクの再生を停止します。
再生ボタン (▶)
ディスクを再生します。
一時停止ボタン (⏸)
ディスクの再生を一時停止します。もう一度押しと再生を再開します。
- I** **USB**
削除ボタン (ERASE)
USB メモリーからファイルを削除するのに使用します。(34 ページ)
スキップ (◀◀/▶▶)/サーチ (◀◀/▶▶) ボタン
前または後ろの曲にスキップします。再生中に押し続けると早送り/早戻しができます。
録音ボタン (RECORD ●)
USB メモリーに録音をするときに使用します。一度押しと録音待機状態になり、もう一度押しと録音を開始します。(31 ページ)
録音中に押しと、そこで録音ファイルが分割されます。(33 ページ)

リモコンの使い方

停止ボタン (■)

USB メモリーの録音 / 再生を停止します。

再生ボタン (▶)

USB メモリーを再生します。

USB の録音待機状態のときに押すと、録音を開始します。

一時停止ボタン (⏸)

USB メモリーの再生 / 録音を一時停止します。もう一度押すと再生 / 録音を再開します。

J TAPE

停止ボタン (■)

カセットテープの再生を停止します。

また、カセットテープへの録音を停止するのに使います。

一時停止ボタン (⏸)

カセットテープの再生 / 録音を一時停止します。

もう一度押すと再生 / 録音を再開します。

注意

- 停止状態のときに一時停止ボタン (⏸) を押しても一時停止状態にはなりません。

早送り / 巻き戻しボタン (◀◀ / ▶▶)

カセットテープの早送り / 巻き戻しに使います。

再生ボタン (▶)

カセットテープを再生します。

カセットテープの再生 / 録音の一時停止状態のときに押すと、再生 / 録音を再開します。

録音ボタン (RECORD ●)

カセットテープに録音をするときに使います。一度押すと録音録音待機状態になり、もう一度押すと録音を開始します。(35 ページ)

カウンターリセットボタン (COUNTER RESET)

ディスプレイのテープカウンターを「0000」にリセットします。

K 録音レベル調節ボタン (- REC LEVEL +)

録音レベルの調節に使います。

使用上の注意

! 乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。4 ページの注意をよく読んでお使いください。

- リモコンは以下の範囲内でご使用ください。

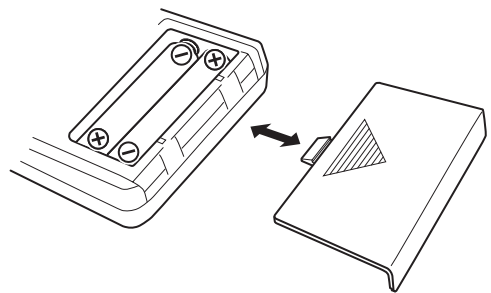
動作距離

正面から左右 15 度以内：7 メートル以内

- 本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明があたると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの ⊕ と ⊖ の表示に合わせて乾電池 (単 4 形) 2 本を入れて、フタを閉めてください。



電池の交換時期

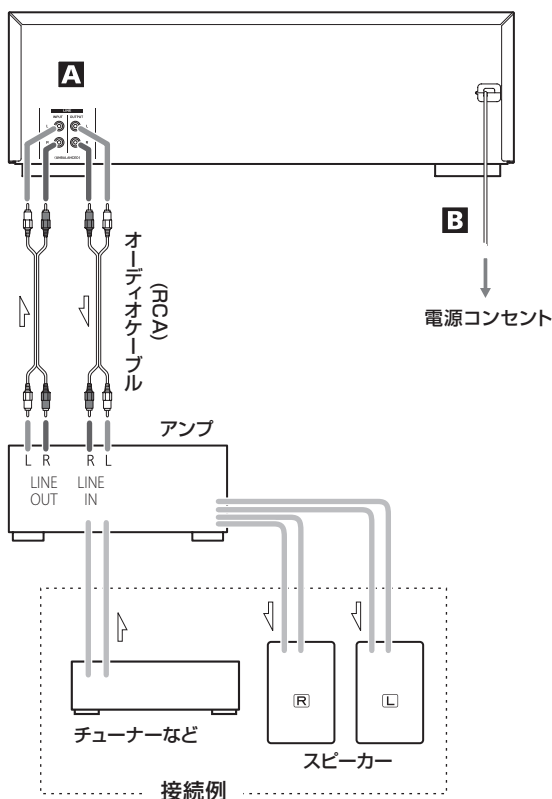
操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2 本とも新しい電池に交換してください。使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法にしたがって捨ててください。

接 続

! 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明にしたがって接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。

CD-A580 (背面)

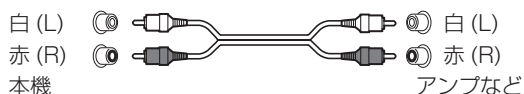


A アナログ音声入出力端子 (LINE IN/OUT)

ステレオアンプ、ミキサーなどを本機のアナログ音声入出力端子に接続します。

接続には、市販の RCA オーディオケーブルをお使いください。

本機の R 端子と音声出力機器の R 端子、本機の L 端子と音声出力機器の L 端子をそれぞれ接続してください。



B 電源コード

全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。

- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

! 注意

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。また、電源の抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。

電源オン / オフの注意

CD-A580 にアンプを接続した際は、必ず以下の順番で電源のオン / オフを行ってください。

電源オン時

1. CD-A580
2. アンプ

電源オフ時

1. アンプ
2. CD-A580

ディスプレイ

CD モード

再生中

オーディオ CD

再生中の曲の経過時間 (分/秒)



再生中の曲番

MP3 ディスク

再生中のファイル番号

(フォルダーごとに「001」から始まります)



再生中のフォルダー番号

再生中のファイルの経過時間
(分/秒)



再生中のファイル名
(長い場合はスクロール表示します)

停止中

オーディオ CD

総再生時間



総曲数

MP3 ディスク

総ファイル数



総フォルダー数

TAPE モード



テープカウンター

USB モード

再生中

再生中のファイル番号

(フォルダーごとに「001」から始まります)



再生中のフォルダー番号

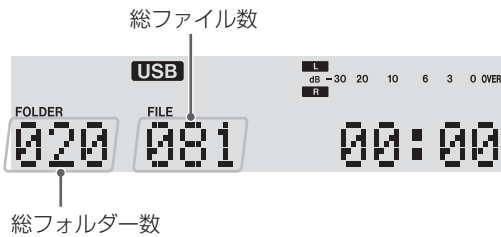
再生中のファイルの経過時間
(分/秒)



再生中のファイル名
(長い場合はスクロール表示します)

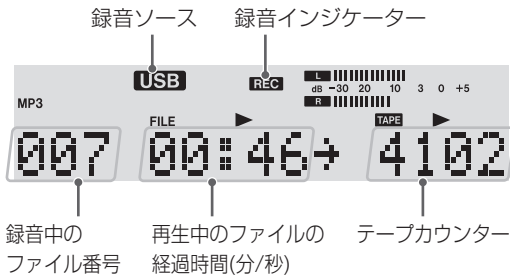
ディスプレイ (続き)

停止中

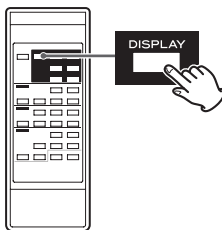


録音中

(例 : USB メモリーからカセットテープに録音中)



ディスプレイの切換 (CD / USB モード)



CD モード、または USB モードの再生中にディスプレイボタン (DISPLAY) を押すたびに、以下のようにディスプレイの表示が変わります。

オーディオ CD

再生中の曲の残り時間 (分 / 秒)

↓

ディスクの総経過時間 (分 / 秒)

↓

ディスクの総残り時間 (分 / 秒)

↓

再生中の曲番と
再生中の曲の経過時間 (分 / 秒)

MP3 ディスク / USB メモリー

ファイル名

↓

タイトル

↓

アーティスト

↓

アルバム

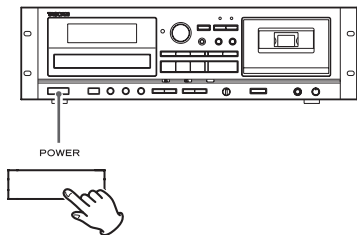
↓

再生中のフォルダー番号
再生中のファイルの経過時間 (分 / 秒)
再生中のファイル名

- 該当する情報がないときは、「No title (タイトルなし)」、「No album (アルバムなし)」、または「No artist (アーティストなし)」が表示されます。
- ファイル情報を読み取れないときは、「****」と表示されます。
- 本機のディスプレイでは 1 バイトの半角英数字しか正しく表示できません。2 バイト文字 (日本語・中国語・韓国語など) や、半角カタカナなどの英数字以外の 1 バイト文字が使われている場合、再生は可能ですがディスプレイには、「****」と表示されます。

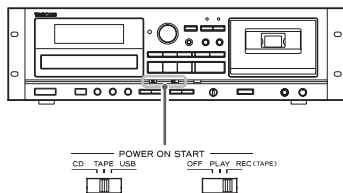
基本操作

電源のオン / オフ

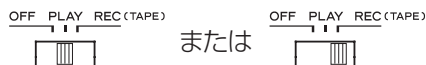


電源をオン / オフするには、電源ボタン (POWER) を押します。
電源がオンになっているときは、ディスプレイが点灯します。

電源をオンにするときは、タイマー設定スイッチ (POWER ON START OFF-PLAY-REC (TAPE)) の位置を確認してください。このスイッチの位置によって、動作が違ってきます。



電源オン時に、タイマー設定スイッチ (OFF-PLAY-REC) が「PLAY」または「REC」になっている場合



または

ソース設定スイッチ (CD-TAPE-USB) で設定されている入力ソースが再生 / 録音されます。
タイマー録音では、カセットテープへのみ録音できます。(38 ページ)

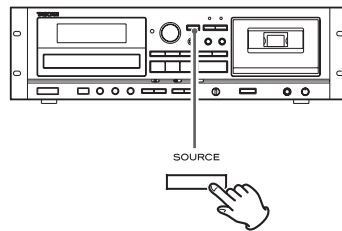
電源オン時に、タイマー設定スイッチ (OFF-PLAY-REC) が「OFF」になっている場合



ソース設定スイッチ (CD-TAPE-USB) で設定されている入力ソースのモードで電源がオンになります。

- タイマーを使わないときは、大切なカセットテープに誤って上書き録音しないように、必ずタイマー設定スイッチ (OFF-PLAY-REC) を OFF (オフ) の位置にしておいてください。

入力ソースの切換



入力切換ボタン (SOURCE) を押すたびに、以下のようにモードが切り換わります。

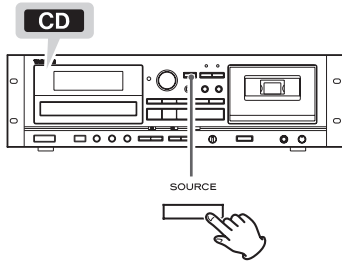


現在のソースは、ディスプレイの左上に表示されます。

- 録音中はソースの切り換えはできません。
- それぞれのソースの再生ボタン (▶) を押すと、そのソースのモードに切り換わり、再生が始まります。
- 外部接続した機器を使う場合には、「LINE」を選んでください。

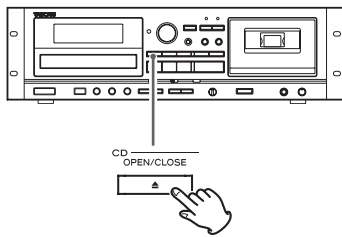
ディスクを聴くには

- 1** 入力切換ボタン (SOURCE) を押して、CD モードを選ぶ。

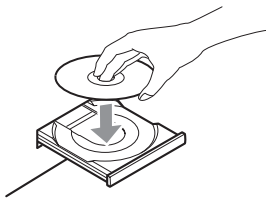


- 他のモードのときに CD 再生ボタン (▶) を押すと、自動的に CD モードに切り換わり、ディスクがセットされているときは再生を始めます。

- 2** CD 開閉ボタン (▲) を押して、ディスクトレイを開ける。



- 3** ディスクのレーベル面を上にしてトレイにのせる。

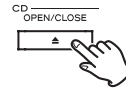


- ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレイを閉じると、ディスクが中で引っ掛かりトレイが開かなくなることがあります。ディスクは必ずトレイの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。

注意

- 2 枚以上のディスクをセットしないでください。
- トレーの開閉動作中は、手で無理やり開け閉めしないでください。
- ディスクにはセロハンテープやシール、ラベルなどを貼らないでください
- ハート形や八角形など特殊形状の CD は使用しないでください。

- 4** 開閉ボタン (▲) を押して、トレイを閉める。



⚠ 注意

指をはさまないよう、ご注意ください。

ディスクの読み込みには数秒かかります。

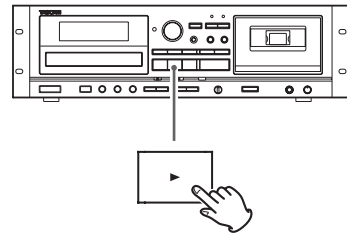
読み込み中は「READING」と表示され、ボタンを押しても機能しません。

読み込みが終了すると以下のように表示されます。

ディスプレイに総曲数と総再生時間が表示されるまでお待ちください。

- ディスクがセットされていないときは、「NO DISC」と表示されます。

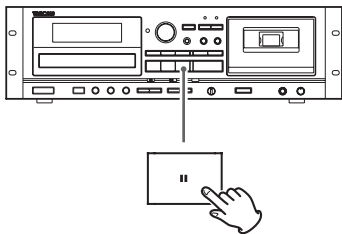
- 5** CD 再生ボタン (▶) を押して、再生を始める。



1 曲目から再生が始まります。

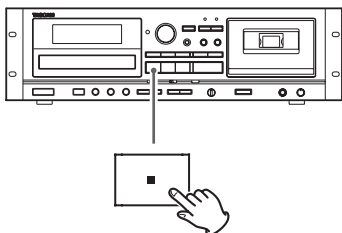
- ディスクをのせたあと、CD 開閉ボタン (▲) を押さずに (トレイを閉めずに) CD 再生ボタン (▶) を押すと、自動的にトレイが閉じてディスクの再生が始まります。
- 全ての曲の再生が終わると停止します。
- フォルダーに入っていない MP3 ファイルは、自動的に「ROOT」フォルダーに入れられます。再生は「ROOT」フォルダーの 1 曲目から始まります。
- MP3 ディスクの再生順については 39 ページをご覧ください。

再生を一時停止するには



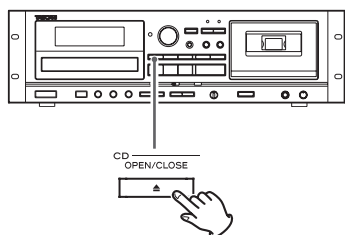
CD 一時停止ボタン (||) を押すと再生が一時停止します。再び CD 一時停止ボタン (||) を押すか、または CD 再生ボタン (▶) を押すと、一時停止したところから再生が再開します。

再生を停止するには



CD 停止ボタン (■) を押すと再生が停止します。

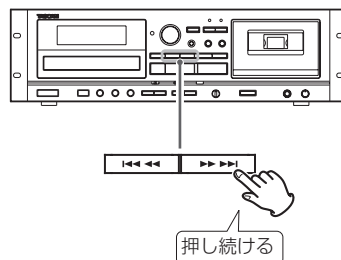
ディスクを取り出すには



CD 開閉ボタン (▲) を押すと、ディスクトレイが開きます。

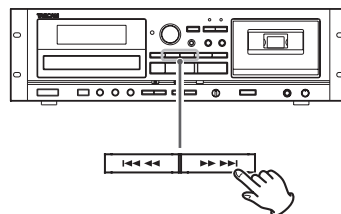
- CD モード以外のときでも、開くことができます。

聴きたい部分を探すには (サーチ)



再生中に CD サーチボタン (◀◀/▶▶) を押したままですると、早送り / 早戻しができます。聴きたい部分が見つかったら指を離してください。

聴きたい曲を探すには (スキップ)



再生中

CD スキップボタン (◀◀/▶▶) を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて押してください。

選択された曲の始めから再生を始めます。

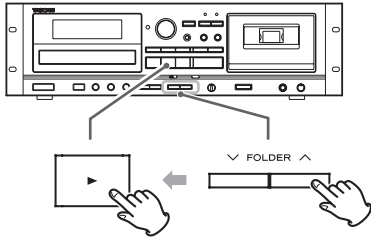
- 再生中は、◀◀ を 1 回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、◀◀ を続けて押してください。

停止中または一時停止中

CD スキップボタン (◀◀/▶▶) を押して聴きたい曲を選んだあと、CD 再生ボタン (▶) または CD 一時停止ボタン (||) を押して再生を始めてください。

ディスクを聴くには (続き)

フォルダーを選ぶには (MP3 ディスク)



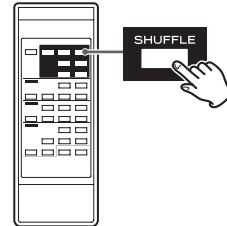
フォルダーを選ぶには、フォルダーボタン (▽ FOLDER ▲) を使います。

CD 再生ボタン (▶) を押すと再生が始まります。

シャッフル再生

この機能は CD モードと USB モードで使えます。

シャッフルボタン (SHUFFLE) を押すと、シャッフル再生モードになり、CD/USB メモリーの全曲がランダムに再生されます。



シャッフルボタン (SHUFFLE) を押すたびに、シャッフル再生モードのオン / オフが切り換わります。

シャッフル再生中は、ディスプレイに「SHUFFLE」と表示されます。

全ての曲を再生すると、シャッフル再生モードを解除して停止します。

シャッフル再生を中止するには、CD/USB 停止ボタン (■) を押します。

- シャッフル再生中に ▶▶ ボタンを押すと、次の曲がランダムに選択されます。◀◀ ボタンを押すと、再生中の曲の頭に戻ります。
- プログラム再生中は、シャッフル再生はできません。
- 以下のボタンを押すと、シャッフル再生モードは解除されます。

CD モード

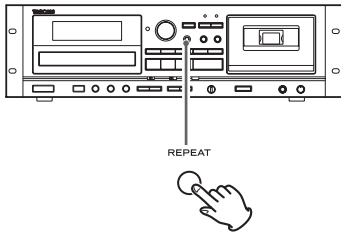
電源ボタン (POWER)、入力切換ボタン (SOURCE)、CD 開閉ボタン (▲)、リピートボタン (REPEAT)、シャッフルボタン (SHUFFLE)

USB モード

電源ボタン (POWER)、入力切換ボタン (SOURCE)、リピートボタン (REPEAT)、シャッフルボタン (SHUFFLE)

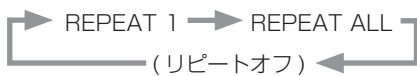
リピート再生

この機能は CD モードと USB モードで使えます。

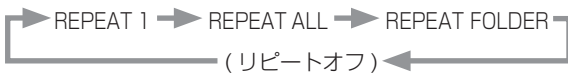


リピートボタン (REPEAT) を押すたびに、以下のようにリピートのモードが変わります。

オーディオ CD



MP3 ディスク



- 以下のボタンを押すとリピートモードは解除されます。

CD モード

電源ボタン (POWER)、入力切換ボタン (SOURCE)、CD 開閉ボタン (▲)、リピートボタン (REPEAT)、シャッフルボタン (SHUFFLE)

USB モード

電源ボタン (POWER)、入力切換ボタン (SOURCE)、リピートボタン (REPEAT)、シャッフルボタン (SHUFFLE)

REPEAT 1(1曲リピート)

再生中の曲を繰り返し再生します。

ディスプレイに「REPEAT 1」と表示されます。

- 1 曲リピート再生中に CD/USB スキップボタン (◀◀ / ▶▶) を使って他の曲を選んだ場合は、その曲を繰り返し再生します。
- 停止中は、リピートボタン (REPEAT) を押してから CD/USB スキップボタン (◀◀ / ▶▶) で曲を選び、CD/USB 再生ボタン (▶)、または CD/USB 一時停止ボタン (⏸) を押しと、1 曲リピート再生を始めます。

REPEAT ALL(全曲リピート)

全曲を繰り返し再生します。

ディスプレイに「REPEAT ALL」と表示されます。

- プログラム再生中は、プログラムした曲を繰り返し再生します。

REPEAT FOLDER(フォルダーリピート) (MP3 ディスクのみ)

選択中のフォルダーの全曲を繰り返し再生します。

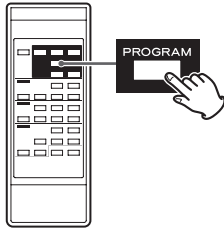
ディスプレイに「REPEAT FOLDER」と表示されます。

プログラム再生

この機能は CD モードと USB モードで使えます。

ディスクの中から、再生したい順番に 30 曲までプログラムすることができます。

1 停止中にプログラムボタン (PROGRAM) を押す。



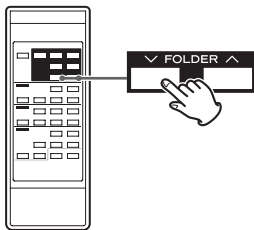
ディスプレイに「PROGRAM」が点滅し、「P-01」と表示されます。

CD モードのときの例：



- プログラムを中止するには、CD/USB 停止ボタン (■) を押します。

2 (MP3 ファイルのプログラムの場合) CD/USB フォルダボタン (∨ FOLDER ∧) を押してフォルダーを選びます。

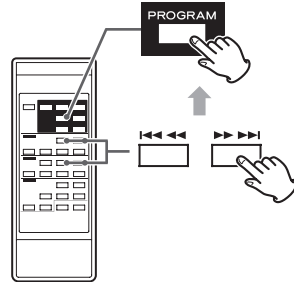


- フォルダに入っていない MP3 ファイルは、「ROOT」フォルダに入っています。

メモ

「ROOT」フォルダは最上層のフォルダ階層です。

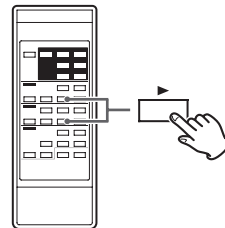
3 CD/USB スキップボタン (◀◀ または ▶▶) を押して曲を選び、プログラムボタン (PROGRAM) を押す。



選択した曲番またはファイルがプログラムされ、「P-02」が表示されます。

- 複数の曲をプログラムするには、**2**~**3**の手順を繰り返してください。
- 30 曲までプログラムすることができます。
- プログラムを中止するには、CD/USB 停止ボタン (■) を押します。
このとき、プログラムされた内容は残っていますので、プログラムボタン (PROGRAM) を押してから、CD/USB 再生ボタン (▶) を押すと、プログラム再生することができます。

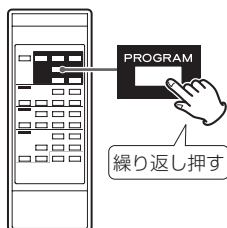
4 プログラムが終わったら、CD/USB 再生ボタン (▶) を押してプログラム再生を始める。



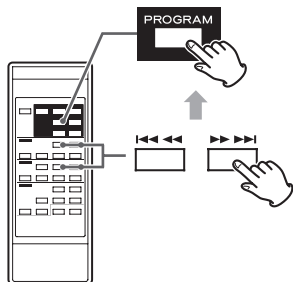
- プログラム再生が終了したあとに、再びプログラム再生をするには、プログラムボタン (PROGRAM) を押してから、CD/USB 再生ボタン (▶) を押します。
- プログラム再生中に CD/USB スキップボタン (◀◀ または ▶▶) を押して、プログラム中の他の曲を選ぶことができます。
- プログラム再生中にシャッフル再生はできません。
- プログラム再生中に REPEAT 1、REPEAT ALL 再生ができます。REPEAT ALL ではプログラムした曲を繰り返し再生します。

プログラムの最後に曲を追加するには

停止中に、「TRACK 00」が表示されるまでプログラムボタン (PROGRAM) を繰り返し押します。



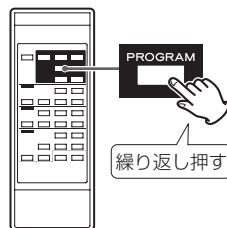
CD/USB スキップボタン (◀◀ または ▶▶) で追加したい曲番を選び、プログラムボタン (PROGRAM) を押します。



選択した曲番がプログラムの最後に追加されます。

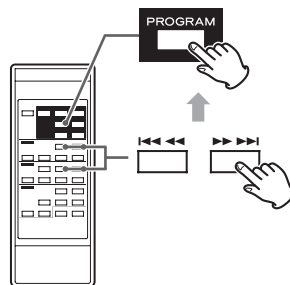
プログラムの一部を書き換えるには

停止中に、書き換えたい曲番が表示されるまでプログラムボタン (PROGRAM) を繰り返し押します。



書き換えたい曲番

CD/USB スキップボタン (◀◀ または ▶▶) で新しく上書きしたい曲番を選び、プログラムボタン (PROGRAM) を押します。



選択した曲番に書き換えられます。

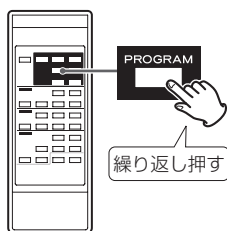
プログラム再生（続き）

プログラムの順番をチェックするには



停止中にプログラムボタン (PROGRAM) を押すたびに、プログラム番号とプログラムした曲番が順番に表示されます。

プログラムの一部を消去するには

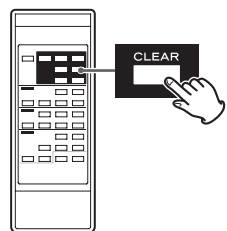


停止中に、削除したい曲番が表示されるまでプログラムボタン (PROGRAM) を繰り返し押します。



削除したい曲番

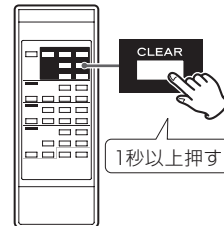
クリアボタン (CLEAR) を押します。



選択した曲番がプログラムから消去されます。

全てのプログラム内容を消去するには

(例)



停止中に、プログラムボタン (PROGRAM) を押してから、クリアボタン (CLEAR) または CD/USB 停止ボタン (■) を 1 秒以上押してください。

ディスプレイの「PROGRAM」インジケーターが消え、全てのプログラム内容が消去されます。

- 「PROGRAM」インジケーターが表示されていないときは、プログラムボタン (PROGRAM) を押して、プログラムモードに切り換えてから消去してください。
- 以下のボタンを押しても、全てのプログラム内容が消去されません。

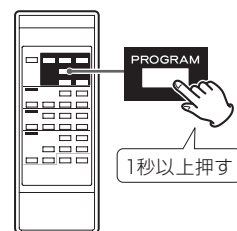
CD モード

電源ボタン (POWER)、CD 開閉ボタン (▲)
入力切換ボタン (SOURCE)

USB モード

電源ボタン (POWER)、入力切換ボタン (SOURCE)

プログラムモードをやめるには



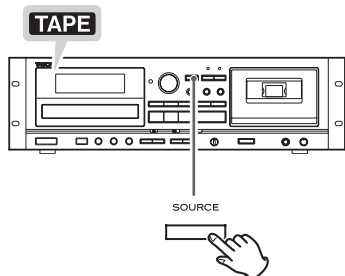
停止中に、プログラムボタン (PROGRAM) を 1 秒以上押し続けるかストップボタンを押します。「PROGRAM」インジケーターが消えて通常のモードに戻ります。

- この操作ではプログラム内容は消去されません。プログラムボタン (PROGRAM) を押してから、CD/USB 再生ボタン (▶) を押すと、プログラム再生することができます。

カセットテープを聴くには

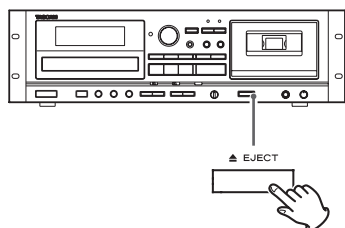
本機では、ノーマル(タイプ I)、クローム(タイプ II)、またはメタル(タイプ IV)のテープを再生することができます。

1 入力切換ボタン (SOURCE) を押して、TAPE モードを選ぶ。

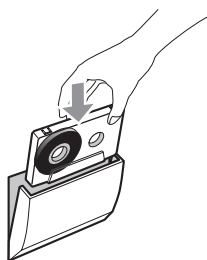


- 他のモードのときにカセットテープの再生を始めると、自動的に TAPE モードに切り換わります。

2 TAPE イジェクトボタン (▲ EJECT) を押して、カセットホルダーを開ける。



3 カセットを入れる。



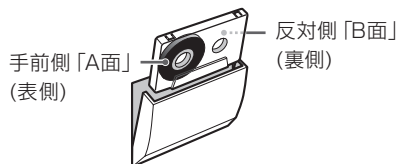
テープが露出している部分を下に、再生したい面を手前にして入れてから、カセットホルダーを手で押して閉めてください。

注意

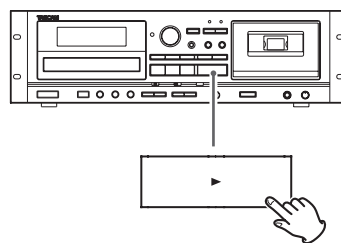
- 変形したり、たるんだりしたテープを使わないでください。テープがからまり、カセットテープが取り出せなくなる可能性があります。
- カセットホルダーを開けるときは、手で無理やり開けないでください。故障の原因となります。

メモ

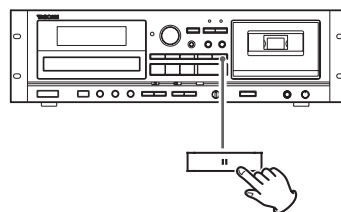
この取扱説明書では、手前の面を「A面」、反対側の面を「B面」と呼びます。



4 TAPE 再生ボタン (▶) を押して再生を始める。



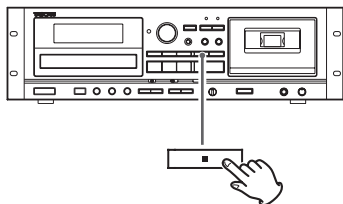
再生を一時停止するには



TAPE 一時停止ボタン (||) を押すと再生が一時停止します。再び TAPE 一時停止ボタン (||) を押すか、または TAPE 再生ボタン (▶) を押すと、一時停止したところから再生が再開します。

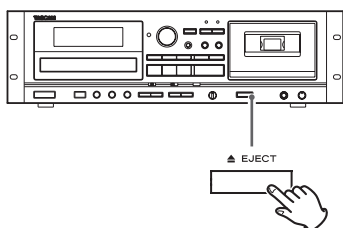
カセットテープを聴くには (続き)

再生を停止するには



TAPE 停止ボタン (■) を押すと再生が停止します。

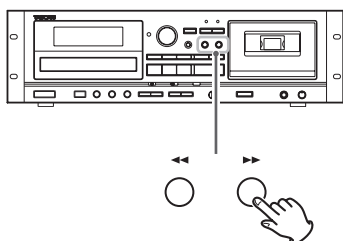
カセットテープを取り出すには



カセットテープの停止中に、TAPE イジェクトボタン (▲ EJECT) を押してカセットホルダーを開き、取り出します。

- 再生中は、TAPE イジェクトボタン (▲ EJECT) を押さないでください。
- TAPE モード以外のときでも、カセットホルダーを開くことができます。

早送り / 巻き戻しするには



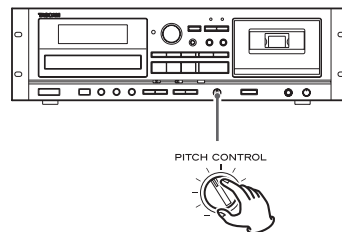
早送りボタン (▶▶)、巻き戻しボタン (◀◀) を押します。

テープの最後まで早送り / 巻き戻しすると、停止します。途中で止めたいときは、TAPE 停止ボタン (■) を押します。

- CD/USB/LINE モードのときでも早送り / 巻き戻しできますが、録音中ではできません。

ピッチコントロール

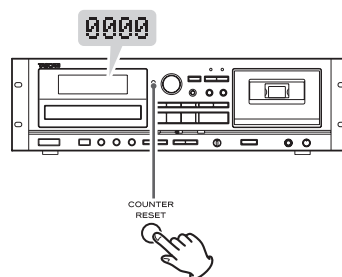
カセットテープの再生時にピッチ (音程) を変えることができます。



ピッチコントロールつまみを右に回すと、テープ走行速度が最大 10% まで速くなり、音程が上がります。左に回すと、テープ走行速度が最大 10% 遅くなり、音程が下がります。

- テープへの録音中にこの操作はできません。
- 通常は 12 時の位置に設定してください。
- カセットテープから USB メモリーに録音する際もピッチコントロールが可能です。

テープカウンター



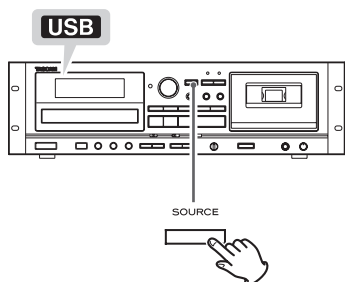
カウンターリセットボタン (COUNTER RESET) を押すと、テープカウンターが "0000" にリセットされます。テープの特定の位置を見つけるのに便利な機能です。

USB メモリーを聴くには

⚠ 注意

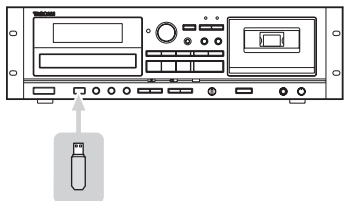
USB メモリーのアクセス中（読み込み、再生、録音、またはファイルの消去中など）には、絶対に電源をオフにしたり、USB メモリーを抜いたりしないでください。本機や USB メモリーの故障の原因になります。

1 入力切換ボタン (SOURCE) を押して、USB モードを選ぶ。



- 他のモードのときに USB メモリーの再生を始めると、自動的に USB モードに切り換わります。

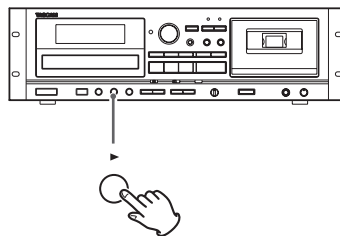
2 本機の USB 端子に、USB メモリーを接続する。



USB メモリーの読み込みには、数秒かかります。特に大容量の USB メモリーの場合に時間がかかることがあります。読み込み中は「READING」と表示され、ボタンを押しても機能しません。

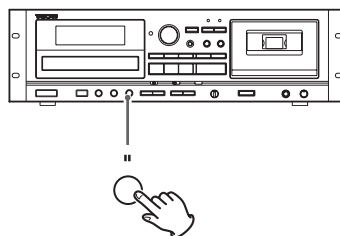
- USB メモリーに MP3 ファイルが記録されていない場合は、「NO MUSIC FILE(ミュージックファイルなし)」と表示されます。

3 USB 再生ボタン (▶) を押して、再生を始める。



- 全ての曲の再生が終わると停止します。
- フォルダーに入っていない MP3 ファイルは、自動的に「ROOT」フォルダーに入れられます。再生は「ROOT」フォルダーの 1 曲目から始まります。
- MP3 ファイルの再生順については 39 ページをご覧ください。

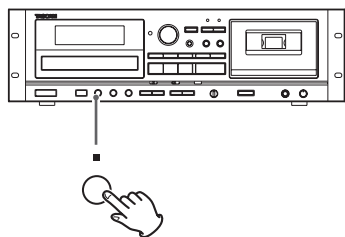
再生を一時停止するには



USB 一時停止ボタン (||) を押すと再生が一時停止します。再び USB 一時停止ボタン (||) を押すか、または USB 再生ボタン (▶) を押すと、一時停止したところから再生が再開します。

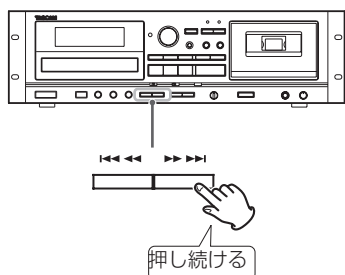
USB メモリーを聴くには (続き)

再生を停止するには



USB 停止ボタン (■) を押すと再生が停止します。

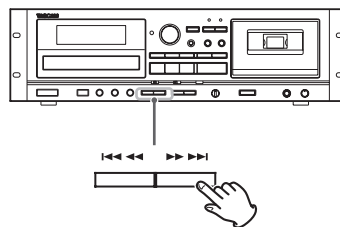
聴きたい部分を探すには (サーチ)



再生中に USB サーチボタン (◀◀/▶▶) を押したままにすると、早送り / 早戻しができます。押し続けると、サーチのスピードが変わります。

聴きたい部分が見つかったら指を離してください。

聴きたい曲を探すには (スキップ)



再生中

USB スキップボタン (◀◀/▶▶) を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて押してください。

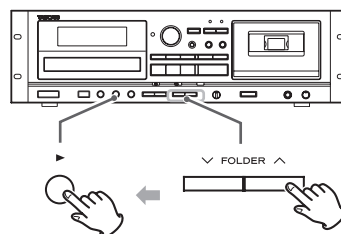
選択された曲の始めから再生を始めます。

- 再生中は、◀◀ を 1 回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、◀◀ を続けて押してください。

停止中または一時停止中

USB スキップボタン (◀◀/▶▶) を押して聴きたい曲を選んだあと、USB 再生ボタン (▶) または USB 一時停止ボタン (⏸) を押して再生を始めてください。

フォルダーを選ぶには



フォルダーを選ぶには、フォルダーボタン (▼ FOLDER ▲) を使います。

USB 再生ボタン (▶) を押すと再生が始まります。

リピート、シャッフル、プログラム再生

USB モードでは、リピート、シャッフル、プログラム再生ができます。以下のページをご覧ください。

- リピート再生 → 23 ページ
- シャッフル再生 → 22 ページ
- プログラム再生 → 24 ページ

USB メモリーに録音するには

本機では、CD やカセットテープ、接続した外部入力機器の音声を MP3 形式にして、USB メモリーに録音することができます。

- 本機にはカセットテープへの録音機能もありますが、USB とカセットテープに同時に録音をすることはできません。
- タイマー録音では、USB への録音はできません。
- CD から USB メモリーへの録音時、USB メモリーの種類によっては、モニター音が切れることがありますが、録音されたデータに影響はありません。

⚠ 注意

USB メモリーの録音中には、絶対に電源をオフにしたり、USB メモリーを抜いたりしないでください。
本機や USB メモリーの故障の原因になります。

録音されるMP3ファイルについて (CD-A580 v2の場合)

- CD から録音すると「RIP」フォルダーが自動的に生成されます。
カセットテープ、外部入力機器から録音すると「REC」フォルダーが自動的に生成されます。
各フォルダー中に MP3 形式のファイルができます。
- ファイル名は、末尾に自動的に順番の数字が付けられ記録されます。

CD からの録音の場合

「TRK1.MP3」, 「TRK2.MP3」.....

録音する CD のトラック番号がファイル名になります。

- すでに USB メモリーに「TRK1.MP3」が保存されている場合、CD のトラック 1 を録音すると「TRK1`0.MP3」というファイル名になります。
以下、同じトラック番号を録音すると「TRK1`1.MP3」, 「TRK1`2.MP3」というファイル名で保存されます。)

例) 2 曲入りの CD(1 枚目)、3 曲入りの CD(2 枚目)、5 曲入りの CD(3 枚目) を順に録音した場合のファイル名

| | 1 枚目 | 2 枚目 | 3 枚目 |
|------|----------|------------|------------|
| 1 曲目 | TRK1.MP3 | TRK1`0.MP3 | TRK1`1.MP3 |
| 2 曲目 | TRK2.MP3 | TRK2`0.MP3 | TRK2`1.MP3 |
| 3 曲目 | | TRK3.MP3 | TRK3`0.MP3 |
| 4 曲目 | | | TRK4.MP3 |
| 5 曲目 | | | TRK5.MP3 |

カセットテープ、外部入力機器からの録音の場合

「REC001.MP3」, 「REC002.MP3」.....

- テープと外部入力機器からの録音では、録音中に手動でファイルを分割することができます。(33 ページ)

その場合のファイル名は、末尾の数字が繰り上がります。(例えば、「REC001.MP3」を 2 つに分割したときは、「REC001.MP3」と「REC002.MP3」になります。)

- 本機では 999 ファイルまで記録することができます。ただし、USB メモリーにすでにファイルがある場合、そのファイル数と合わせて 999 ファイルまで録音可能です。
- 1 つのファイルの録音時間は最長 240 分までです。
- 本機では、ビットレートが 128kbps の MP3 に変換して USB メモリーに録音します。

録音されるMP3ファイルについて (CD-A580の場合)

- 録音すると、「RECORD」フォルダーと、その中にそれぞれのソースの名前のついたサブフォルダー(「CD」、 「TAPE」、または「LINE」)が自動的に生成されます。
そのサブフォルダー中に MP3 形式のファイルができます。
- ファイル名は、末尾に自動的に順番の数字が付けられ記録されます。

CD からの録音の場合

「CD001.MP3」, 「CD002.MP3」.....

(すでに USB メモリーのフォルダーに「CD004.MP3」と「CD009.MP3」が記録されている場合、次に録音したときに記録されるファイル名は「CD010.MP3」となります)

カセットテープからの録音の場合

「T001.MP3」, 「T002.MP3」.....

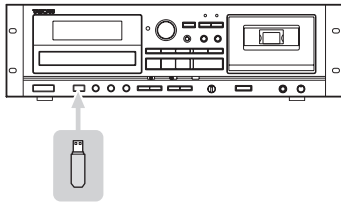
外部入力機器からの録音の場合

「L001.MP3」

- テープと外部入力機器からの録音では、録音中に手動でファイルを分割することができます。(33 ページ)
その場合のファイル名は、末尾の数字が繰り上がります。(例えば、「T001.MP3」を 2 つに分割したときは、「T001.MP3」と「T002.MP」になります)
- 本機では 999 ファイルまで記録することができます。ただし、USB メモリーにすでにファイルがある場合、そのファイル数と合わせて 999 ファイルまで録音可能です。
- 1 つのファイルの録音時間は最長 240 分までです。
- 本機では、ビットレートが 128kbps の MP3 に変換して USB メモリーに録音します。

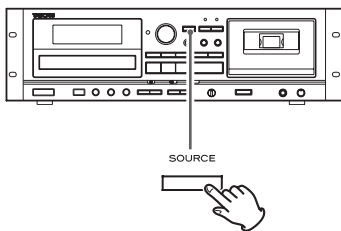
USB メモリーに録音するには (続き)

- 1** 本機の USB 端子に、USB メモリーを接続する。

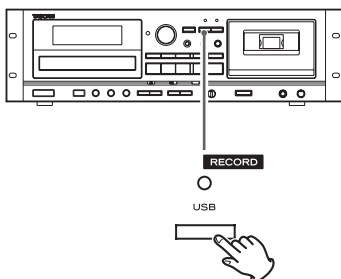


- USB メモリーの空き容量がない場合や、USB メモリーがロックされている場合は録音できません。
- 本機で USB メモリーの容量を確認することはできません。録音の前に、あらかじめ USB メモリーの容量をパソコンで確認してください。

- 2** 入力切換ボタン (SOURCE) を押して、録音ソースを選ぶ。(CD、TAPE、または LINE)



- 3** USB 録音ボタン (RECORD USB) を押して、録音待機状態にする。



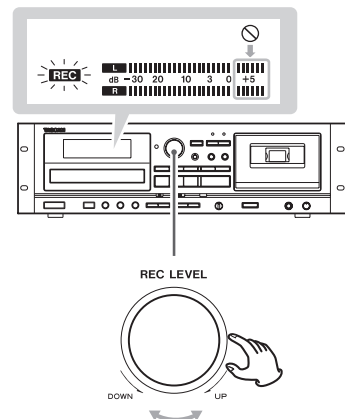
USB 録音ボタン (RECORD USB) の上の赤いインジケータと、ディスプレイの **REC** が点滅します。

- USB 記録の準備には数秒かかります。特に大容量の USB メモリーの場合に時間がかかることがあります。準備中は「Record prepare」と表示され、ボタンを押しても機能しません。
- 録音を停止するには、USB 停止ボタン (■) を押します。

- 4** (カセットテープ、または外部入力機器からの録音の場合) 録音レベルを調節する。

録音の前に、録音レベルを調節してください。これを行わないと、録音した音が歪んだり、雑音が入ってしまうことがあります。

1. 録音ソース(カセットテープ、または外部入力機器)を再生する。
2. 録音レベル調節つまみ(REC LEVEL)を使って、最も大きな音のときに、ピークレベルメーターが「OVER」に達しないように調節します。



- 録音するソースによっては、音量に差があります。様々なソースを適切な音量で録音するためには、ソースごとに録音レベルの調節が必要です。
- CD からの録音では、録音レベルは調節できません。

- 5** 録音ソースを準備する。

CDから録音する場合

ディスクの全ての曲を録音するときは停止状態にしておきます。

途中から録音したいときは、録音したい部分の頭で一時停止状態にしておきます。

プログラムした順番での録音もできます。プログラム方法については 24 ページをご覧ください。

カセットテープから録音する場合

テープの全ての内容を録音するときは、テープを始める位置まで巻き戻しておきます。
途中から録音したいときは、録音したい部分の頭で停止または一時停止状態にしておきます。

外部入力機器から録音する場合

外部入力機器の再生を準備します。

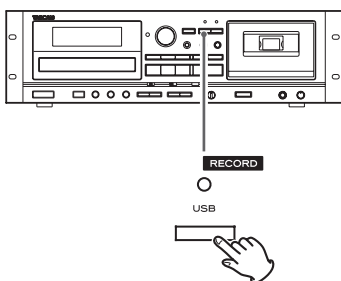
例

アンプの入力ソースをセットする
プレーヤーのメディアをセットする
チューナーの選局をする

6 USB 録音ボタン (RECORD USB) を押し、録音を開始する。

外部入力機器から録音する場合は、外部入力機器の再生も開始してください。
録音ソースが CD またはテープの場合は自動的にソースの再生が開始されます。

- USB 一時停止ボタン (II) または、USB 再生ボタン (▶) を押しでも録音を開始します。



USB 録音ボタン (RECORD USB) の上の赤いインジケータと、ディスプレイの **REC** の点滅が止まります。

- 録音の途中で USB メモリー空き容量がなくなると、録音は停止します。
- 録音を一時停止するには、USB 一時停止ボタン (II) を押します。もう一度押すと録音を再開します。USB 再生ボタン (▶) を押した場合にも録音を再開します。
また、録音ソースが CD またはテープの場合にはソースの再生ボタンを押すことでも録音を再開できます。

CD またはカセットテープから録音する場合

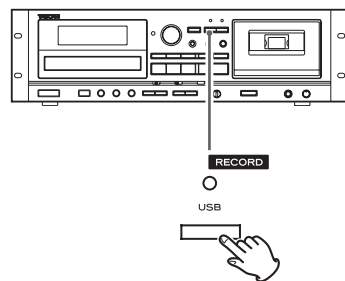
ソースの再生が終わると、録音は自動的に停止します。録音を途中で停止するには、USB 停止ボタン (■) を押します。この場合録音ソースの再生も停止します。

外部入力機器から録音する場合

ソースの再生が終わっても、録音は自動的に停止しません。USB 停止ボタン (■) を押して録音を停止してください。

手動ファイル分割

テープと LINE からの録音中には、録音する MP3 ファイルを、手動で分割することができます。
CD からの録音では、分割はできません。(CD からの録音は自動的にトラックごとに分割されます)



録音中に、分割したいところで USB 録音ボタン (RECORD USB) を押すと、録音中のファイルが分割されます。
ファイル分割は 10 数秒かかります。

- 分割中は、ディスプレイに「File increment」と表示されます。
- USB 停止ボタン (■) を押すと「Record Ending」と表示されます。

カセットテープからの録音の場合

ファイル分割の間、カセットテープが止まりますが、録音の途切れはほとんど生じません。

外部入力機器からの録音の場合

ファイル分割の間、録音が途切れます。

- すでに録音されている MP3 ファイルを分割することはできません。この機能は録音中にのみ使うことができます。
- 分割したファイル名は、末尾の数字が繰り上がります。

例 (CD-A580 v2 の場合)

「REC001.MP3」を 2 つに分割したときは、「REC001.MP3」と「REC002.MP3」となります。

例 (CD-A580 の場合)

「T001.MP3」を 2 つに分割したときは、「T001.MP3」と「T002.MP3」となります。

USB メモリーからファイルを消去するには

⚠ 注意

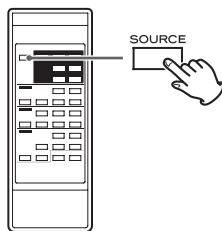
USB メモリーのファイルの消去中には、絶対に電源をオフにしたり、USB メモリーを抜いたりしないでください。本機や USB メモリーの故障の原因になります。

全てのファイルを消去するには

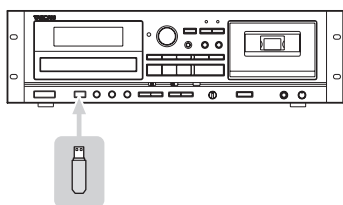
⚠ 注意

この操作をすると、USB メモリーから全ての内容が消去されます。また、音楽ファイル以外のファイルも消去されます。操作の前に消去してよいかを確認してください。

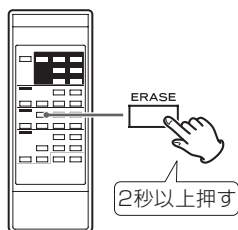
- 1 入力切換ボタン (SOURCE) を押して、USB モードを選ぶ。



- 2 本機の USB 端子に、USB メモリーを接続する。



- 3 消去ボタン (ERASE) を 2 秒以上押す。



ディスプレイに「Erase all?(全て消去?)」と表示されます。

- 4 6 秒以内に消去ボタン (ERASE) を押す。



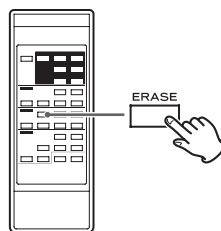
USB メモリーから全ての記録されていた内容が消去されます。

ディスプレイに「NO MUSIC FILE」と表示されます。

ファイルを 1 つずつ消去するには

- 1 消去したいファイルを再生する。(29 ページ)

- 2 消去ボタン (ERASE) を押す。



ディスプレイに「Erase file?(ファイルを消去?)」と表示されます。

- 3 6 秒以内に消去ボタン (ERASE) を押す。



ディスプレイに「Erasing」と表示されます。再生中のファイルが消去され、再生が停止します。

カセットテープに録音するには

本機では、CD や USB メモリー、または接続した外部入力機器の音声をカセットテープに録音することができます。ノーマル(タイプ I)、またはクローム(タイプ II)のテープに録音することができます。メタル(タイプ IV)には本機では録音できません。

- 本機には USB メモリーへの録音機能もありますが、カセットテープと USB に同時に録音をすることはできません。

⚠ 注意

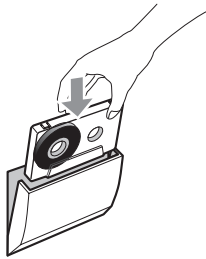
録音中には、絶対に電源をオフにしたり、電源コードを抜いたりしないでください。

本機や接続した機器の故障の原因になります。

1 カセットホルダーにカセットテープを入れる。

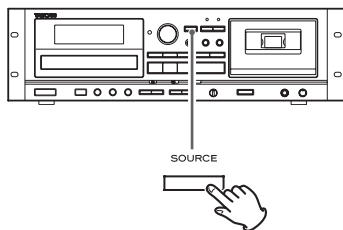
EJECT ボタン (▲) を押すとカセットホルダーが開きます。

テープが露出している部分を下に、録音する面を手前に入れてから、カセットホルダーを手で押して閉めてください。

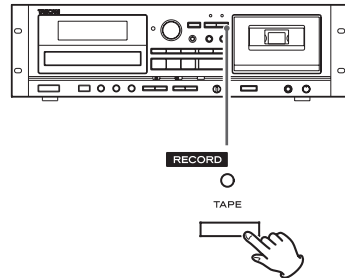


- 誤消去防止用のつめが取り除かれている場合、取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。

2 入力切換ボタン (SOURCE) を押して、録音ソースを選ぶ。(CD、USB、または LINE)



3 テープ録音ボタン (RECORD TAPE) を押して、録音待機状態にする。



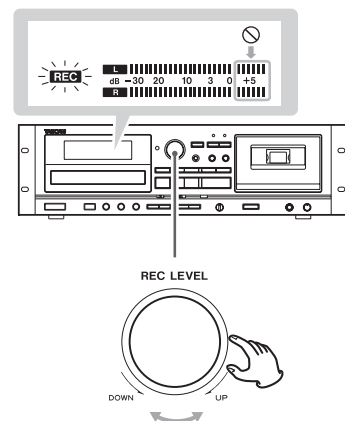
テープ録音ボタン (RECORD TAPE) の上の赤いインジケータと、ディスプレイの **REC** が点滅します。

- 録音を停止するには、TAPE 停止ボタン (■) を押します。

4 録音レベルを調節する。

録音の前に、録音レベルを調節してください。これを行わないと、録音した音が歪んだり、雑音が入ってしまうことがあります。

1. 録音ソースを再生する。
2. 録音レベル調節つまみ (REC LEVEL) を使って、最も大きな音のときに、ピークレベルメーターが継続的に「0」を超えないように調節します。



- 録音するソースによっては、音量に差があります。様々なソースを適切な音量で録音するためには、ソースごとに録音レベルの調節が必要です。

カセットテープに録音するには (続き)

5 録音ソースを準備する。

CDから録音する場合

ディスクの全ての曲を録音するときは停止状態にしておきます。

途中から録音したいときは、録音したい部分の頭で一時停止状態にしておきます。

プログラムした順番での録音もできます。プログラム方法については24ページをご覧ください。

USBメモリーから録音する場合

USBメモリーの全ての曲を録音するときは、最初の曲の頭で停止状態にしておきます。

途中から録音したいときは、録音したい部分の頭で一時停止状態にしておきます。

プログラムした順番での録音もできます。プログラム方法については24ページをご覧ください。

- MP3ファイルの再生順については39ページをご覧ください。

外部入力機器から録音する場合

外部入力機器の再生を準備します。

例

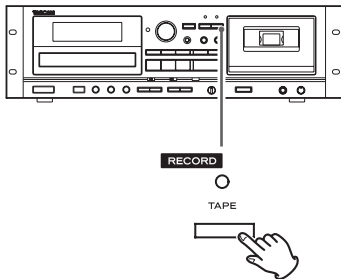
アンプの入力ソースをセットする
プレーヤーのメディアをセットする
チューナーの選局をする

6 テープ録音ボタン (RECORD TAPE) を押して、録音を開始する。

外部入力機器から録音する場合は、外部入力機器の再生も開始してください。

録音ソースがCDまたはUSBメモリーの場合は自動的にソースの再生が開始されます。

- TAPE一時停止ボタン(II)または、TAPE再生ボタン(▶)を押しても録音を開始します。



テープ録音ボタン (RECORD TAPE) の上の赤いインジケーターと、ディスプレイの **REC** の点滅が止まります。

- 録音を一時停止するには、TAPE一時停止ボタン(II)を押します。もう一度押すと録音を再開します。

TAPE再生ボタン(▶)を押した場合にも録音を再開します。

また、録音ソースがCDまたはUSBの場合にはソースの再生ボタンを押すことでも録音を再開できます。

CDまたはUSBメモリーから録音する場合

ソースの再生が終わると、録音は自動的に停止します。録音を途中で停止するには、TAPE停止ボタン(■)を押します。この場合録音ソースの再生も停止します。

外部入力機器から録音する場合

ソースの再生が終わっても、録音は自動的に停止しません。TAPE停止ボタン(■)を押して録音を停止してください。

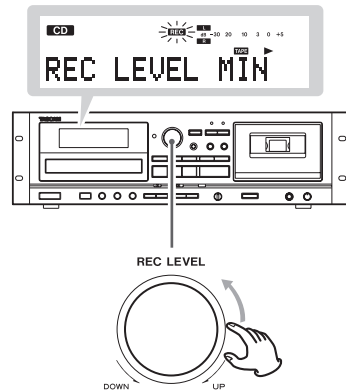
録音を消去するには

録音すると、以前カセットテープに録音されていた内容は上書きされます。

録音レベルを最小(MIN)にして録音をすることによって、録音内容を消去することができます。

1 テープ録音ボタン (RECORD TAPE) を押して、録音待機状態にする。

2 録音レベル調節つまみ (REC LEVEL) を最小 (MIN) に合わせる。



3 テープ録音ボタン (RECORD TAPE) を押して、消去を開始する。

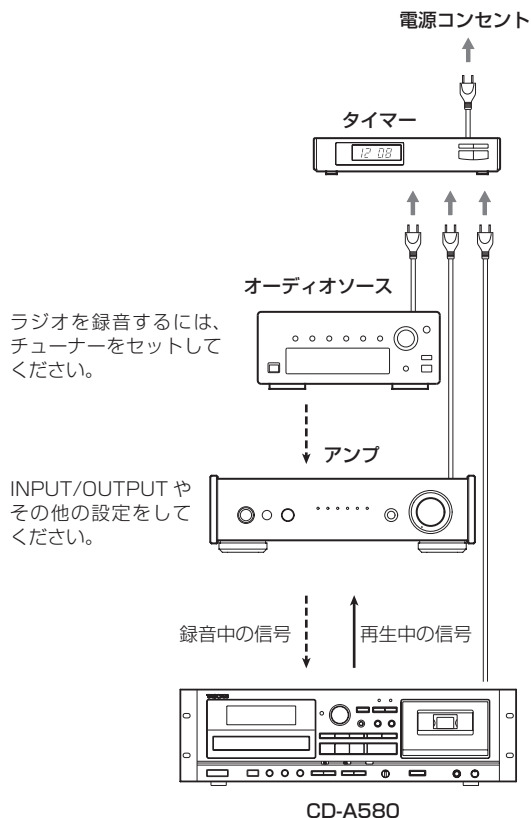
タイマー再生 / 録音

市販のプログラムタイマーを接続して、設定した時間に再生や録音を開始することができます。

- タイマー再生のソースは、CD、TAPE、USBメモリーのみです。外部接続機器をタイマー再生することはできません。
- タイマー録音のソースは、外部接続機器のみです。また、カセットテープにのみ録音できます。

接続

下図を参考に、機器を接続してください。



! 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明にしたがって接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。

タイマー再生 (CD USB TAPE)

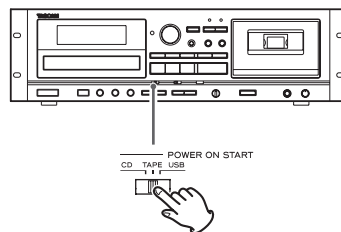
- タイマー再生のソースは、CD、TAPE、USBメモリーのみです。外部接続機器をタイマー再生することはできません。

1 前項の接続図を参考にして、CD-A580と機器を市販のプログラムタイマーに接続する。

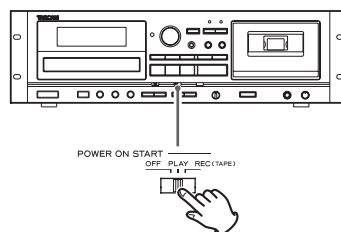
2 全ての機器の電源をオンにする。

3 タイマー再生したいソースをセットする。

4 ソース設定スイッチ (CD-TAPE-USB) を再生したいソースにセットする。



5 タイマー設定スイッチ (OFF-PLAY-REC) を「PLAY」にセットする。



CD-A580のディスプレイに「TIMER」と表示されます。

タイマー再生 / 録音 (続き)

6 プログラムタイマーのオン / オフの時間を設定する。

プログラムタイマーの設定を終了すると、プログラムタイマーに接続した全ての機器の電源がオフになります。

このとき、CD-A580の電源ボタン(POWER)を押さないでください。

電源ボタンは押されたままの状態(オンの位置)にしておいてください。オフの状態になっていると、タイマー再生は動作しません。

タイマーオンの時間になると、電源が接続した機器に供給され、再生が始まります。

- タイマーを使わないときは、タイマー設定スイッチ(OFF-PLAY-REC)をOFF(オフ)にセットしてください。

タイマー録音 (LINE → TAPE)

- タイマー録音のソースは、外部接続機器のみです。また、カセットテープにのみ録音できます。

(例: ラジオ放送のタイマー録音)

1 前のページの接続図を参考にして、CD-A580と機器を市販のプログラムタイマーに接続する。

2 全ての機器の電源をオンにする。

3 タイマーで録音したいカセットテープをセットする。

消去防止用のつめが取り除かれている場合、取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。

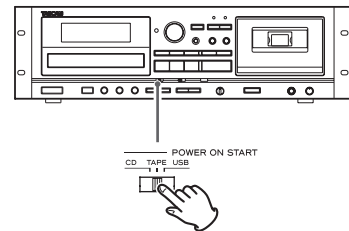
ノーマル(タイプI)、またはクローム(タイプII)のテープに録音することができます。

ご注意

カセットテープは、録音する面を手前にして入れてください。

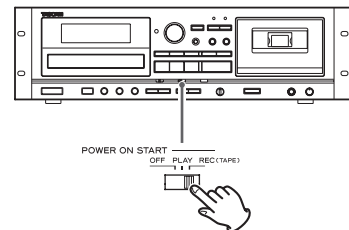
裏表を間違えて、大切な録音を誤って消してしまわないようご注意ください。

4 ソース設定スイッチ(CD-TAPE-USB)を「TAPE」にセットする。



- USBメモリーには録音できません。カセットテープにのみ録音できます。

5 タイマー設定スイッチ(OFF-PLAY-REC)を「REC」にセットする。



CD-A580のディスプレイに「TIMER」とRECインジケータが表示されます。

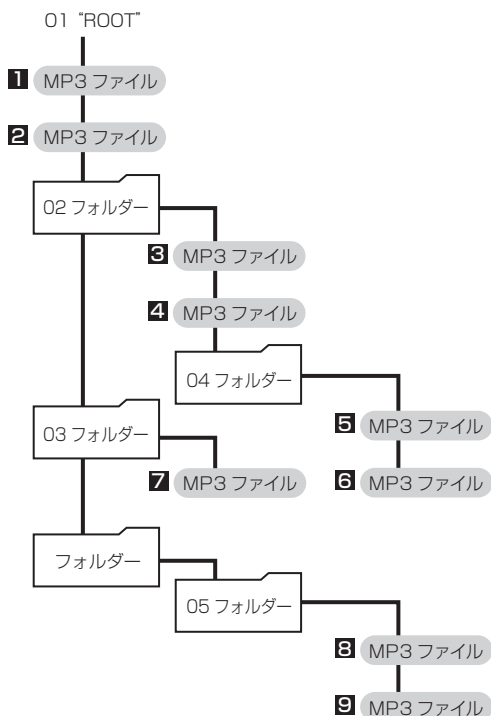
- ソース設定スイッチの設定が「TAPE」以外に設定されていると、「INVALID」(無効)と表示されタイマー録音ができません。

6 録音したい放送局を選局する。

MP3 ディスクの再生順

MP3 ファイルを収録した CD や USB メモリーには、通常のパソコンのファイルの扱いと同じように、MP3 ファイルをフォルダーに収納しているものがあります。さらに、いくつかのフォルダーをまとめて 1 つのフォルダーに収めているものもあります。

本機で MP3 ディスクを再生するときの
フォルダー番号とファイルの再生順 (1~9) の例

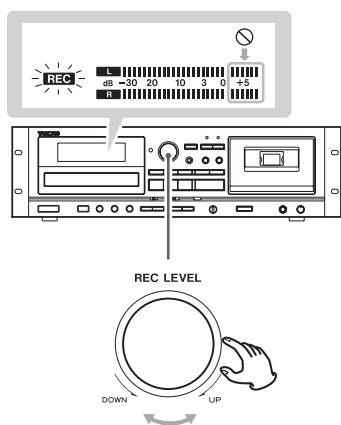


- ファイルとフォルダーの表示順と再生の順序は以下
のようになります。
USB：MP3 ファイルをコピーした順番
CD：アスキーコードの順番

7 録音レベルを調節する。

録音の前に、録音レベルを調節してください。これを行わないと、録音した音が歪んだり、雑音が入ってしまうことがあります。

録音レベル調節つまみ (REC LEVEL) を使って、最も大きな音のときに、ピークレベルメーターが継続的に「0」を超えないように調節します。



8 プログラムタイマーのオン / オフの時間を設定する。

プログラムタイマーの設定を終了すると、プログラムタイマーに接続した全ての機器の電源がオフになります。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。

それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（巻末に記載）にご連絡ください。

また、修理内容によっては、修理前に CD-A580 であった機体が修理後に CD-A580 v2 の仕様になる場合があります。予めご了承ください。

一般

電源が入らない。

- ➔ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。差し込みが不完全ではないかを確認してください。

リモコンで操作できない。

- ➔ 電源ボタン (POWER) を押して、本体の電源をオンにしてください。
- ➔ 電池が消耗していたら、新しい電池に交換してください。
- ➔ リモコンは本体の正面から 7 メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。
- ➔ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できませんので、位置を調整してください。
- ➔ 本体の近くに強い光の照明がある場合は、照明を切ってください。

テレビなどが誤動作する。

- ➔ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。その場合は本体のボタンをお使いください。

ボタンを押しても反応しない。

- ➔ 動作中は、ボタンを押しても反応しないことがあります。しばらく待ってから再度ボタンを押してください。

音が出ない。または小さな音しか出ない。

- ➔ アンプとの接続を確認してください。
- ➔ スピーカーや他の機器との接続を確認してください。
- ➔ 接続した機器の操作が正しいか確認してください。
- ➔ スピーカーケーブルの ⊕ / ⊖ がショートしていないか確認してください。
- ➔ 入力切換ボタン (SOURCE) を押して、入力ソースを選んでください。

雑音がする。

- ➔ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

CD プレーヤー

再生できない。

- ➔ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
- ➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- ➔ 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
- ➔ ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RW を再生できないことがあります。
- ➔ ファイナライズされていない CD-R/CD-RW は本機で再生できません。
- ➔ 本機の内部が結露している場合は、約 1、2 時間放置してから電源を入れてお使いください。

音飛びがする。

- ➔ 震動を与えると音飛びする場合があります。本機は安定した場所に設置してください。
- ➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- ➔ 傷が付いたり、ヒビが入っているディスクは使わないでください。

カセットテープ

カセットホルダーが開まらない。

- ➔ カセットテープが正しくセットされていないと閉まりません。正しく入れ直してください。

音質が悪い。

- ➔ ヘッドをクリーニングしてください。(11 ページ)

再生スピードが速い / 遅い

- ➔ ピッチコントロールの設定を確認してください。(28 ページ)

録音できない。

- ➔ 消去防止用のつめが取り除かれている場合、取り除いたあとの孔にセロハンテープなどを貼ってふさいでください。
- ➔ 録音レベルを確認してください。(35 ページ)

USB メモリー

USB 再生ボタン (▶) を押しても、再生できない。

- ➔ USB メモリーに MP3 ファイルが記録されているか確認してください。
- ➔ ファイルのフォーマットを確認してください。本機で再生できるのは、MP3 ファイルです。MPEG 1 LAYER 2 ファイルなどは再生できません。

録音できない。

- ➔ USB メモリーに空き容量があるか確認してください。
- ➔ USB メモリーがロックされていないか確認してください。
- ➔ 録音レベルを確認してください。(32 ページ)
- ➔ USB メモリーによっては正常に録音できない場合があります。その場合は別の USB メモリーに交換してください。当社で動作確認済みの USB メモリーについては TASCAM のウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) をご確認ください。
本製品は全ての USB メモリーへの録音を保証するものではありません。

モニター音が途切れる

- ➔ CD から USB メモリーへの録音時、USB メモリーの種類によっては、モニター音が切れることがありますが、録音されたデータに影響はありません。

MP3

ファイル名が正しく表示されない。

- ➔ ファイル名に日本語や中国語などの全角文字 (2 バイト文字) や、半角カタカナなどの英数字以外の 1 バイト文字が使われている場合、再生は可能ですが、ディスプレイに正しく表示できません。

曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない。

- ➔ ファイルに ID3 タグが入っていません。パソコンなどで ID3 タグを編集した MP3 ファイルを作成し直してください。本機で録音したファイルには ID3 タグは記録されません。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作し直してください。

仕様

CD プレーヤー部

使用ディスク CD/CD-R/CD-RW (12cm/8cm)
ディスクフォーマット

オーディオ CD : CD-DA

データ CD : ISO9660 レベル 1 / レベル 2

再生可能フォーマット

CD-DA

サンプリング周波数 : 44.1kHz

量子化ビット数 : 16bit

チャンネル数 : 2

MP3

音声モード : STEREO/JOINT STEREO/DUAL
CHANNEL/MONO

サンプリング周波数 : 16k - 48kHz

ビットレート : 8k - 320kbps*

* DRM (Digital Right Management) 非対応

周波数特性 20Hz ~ 20kHz \pm 2dB
全高調波歪率 0.02% 以下 (1kHz)
S/N 比 87dB 以上 (IHF-A)
ライン出力 (RCA) 最大出力レベル +6dBV(2.0V)
(負荷インピーダンス 50k Ω 以上)

カセットテープ部

トラック形式 4トラック2チャンネル・ステレオ
ヘッド構成 録音/再生ヘッド \times 1
消去ヘッド \times 1

テープタイプ カセットテープ C-10 ~ C-90

テープ速度 4.76cm/秒

モーター DC サーボモーター \times 1

ピッチコントロール 約 \pm 10% (再生のみ)

ワウ・フラッター 0.25% (W.RMS)

周波数特性 (総合) 50 ~ 12.5kHz \pm 4dB : クローム
50 ~ 12.5kHz \pm 4dB : ノーマル

SN 比 (総合) 59dB
(最大録音レベル入力時、A-Weight)

早巻時間 約 120 秒 (C-60 テープ)

ライン入力 (RCA) 基準入力レベル -4.5dBu(0.46V)
(入力インピーダンス 50k Ω 以上)

ライン出力 (RCA) 基準出力レベル -4.5dBu(0.46V)
(負荷インピーダンス 50k Ω 以上)

USB 部

インターフェイス

CD-A580 v2 USB 2.0 FULL SPEED (12Mbps)

CD-A580 USB 1.1 FULL SPEED (12Mbps)

コネクタ USB A 端子
再生

周波数特性 20Hz ~ 20,000Hz (\pm 2dB)

S/N 比 85dB 以上

フォーマット MP3

サンプリング周波数 16k - 48kHz

再生ビットレート 8 ~ 320kbps

ライン出力 (RCA) 最大出力レベル +6dBV(2.0V)
(負荷インピーダンス 50k Ω 以上)

録音

周波数特性

CD \rightarrow USB 20Hz ~ 15kHz (\pm 3dB)

LINE IN \rightarrow USB 100Hz ~ 15kHz (\pm 3dB)

S/N 比 85dB 以上

フォーマット MP3

サンプリング周波数 44.1kHz

録音ビットレート 128kbps

ライン入力 (RCA) 基準入力レベル -10dBV(0.316V)
(入力インピーダンス 50k Ω 以上)

連続録音可能時間 240 分

フォルダー階層 8 階層まで対応

ヘッドホン部

ヘッドホン出力

コネクタ : ステレオ標準ジャック

定格出力 : 10mW+10mW
(CD MONITOR 時、THD+N 0.1%, 32 Ω)

一般

電源 AC100V、50-60Hz

消費電力 13W

外形寸法 (幅、高さ、奥行き)

483 x 138.5 x 290mm (突起部を含む)

質量 6.0kg

許容動作温度 +5 $^{\circ}$ C ~ +35 $^{\circ}$ C

付属品

リモコン (RC-1329) \times 1

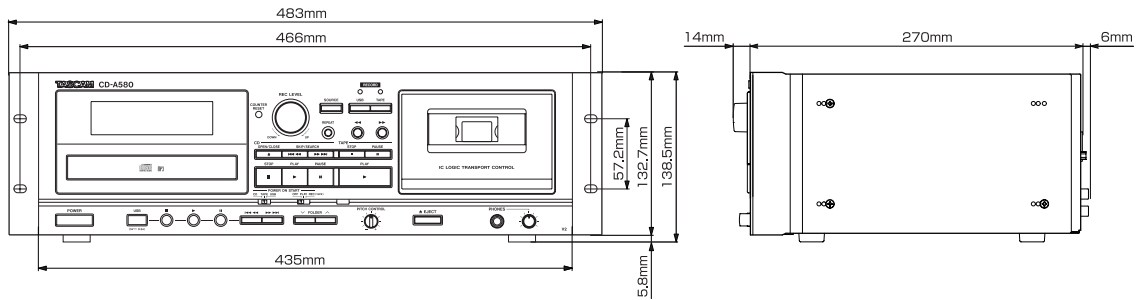
リモコン用乾電池 (単 4) \times 2

ラックマウントビスキット \times 1

取扱説明書 (保証書付き、本書) \times 1

TASCAM ID 登録ガイド \times 1 (CD-A580 v2 のみ)

寸法図



- 仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。無償修理の対象は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
 - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4) 接続しているほかの機器に起因する故障および損傷

- (5) 業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
- (6) メンテナンス
- (7) 本書の提示がない場合
- (8) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ


- * この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは


タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

- 電話 **042-356-9137** 携帯電話・PHS・IP電話から
- ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から
- FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00～12:00/13:00～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

- 電話 **04-2901-1033** 携帯電話・PHS・IP電話から
- ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から
- FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0622.MA-3222B

Printed in China

保証書

| | | |
|-----------------|----------------|----|
| 品名 および 形名 | CD-A580 | |
| 機番 | | |
| 保証期間 | 本体 | 1年 |

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

| | | |
|--------|-------|-----------|
| お買い上げ日 | 年 月 日 | |
| お客様 | お名前 | 見本 |
| | ご住所 | |

| | |
|----|-----|
| 電話 | () |
|----|-----|

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：0570-000-501 / 04-2901-1033

